

# フィルター交換手順

(工具は不要です。)

ステンレス製クラスター式フィルターハウジングには、フィルター長さ10・20・30・40インチ用の4種類があり、それぞれに5本用、7本用があるので、全8種類になります。

※ ご購入になられたステンレス製クラスターハウジング(以下クラスターハウジング)がどのタイプかよくご確認のうえ本書をお読みください。

- フィルター交換時期(フィルター詰り)の目安：受水圧力(P1)よりフィルター出口圧力(P2)が0.1Mpa以上低くなった時。(お客様で、圧力計が付けられていないと?判断が付きません)  
または、フィルター缶からの出水量が仕様の水量以下になった場合、フィルターが詰まっています。  
※ 装置の仕様や、お客様の好みによりフィルターが違いますのでご注意ください。  
※ 送水ポンプは、本缶の入口側に有る事！ 出口側での引込みポンプでは使えません。

普通は付いていない  
↓  
逆止弁

## I フィルター取り外し手順

1. フィルター缶下部のドレンコックを開いてフィルター缶内の水を抜いて下さい。

※ 空気抜き弁の先に逆止弁が有る場合は、先に外して下さい。

空気抜き弁

2. 蓋を外します。(ステンレスのバンドを緩めてから)  
(固い場合はスパナ等で緩めて下さい。)



3. 缶内、上部の丸板を外します。

※ 蝶ナットやスプリング式キャップを底に落とさないように注意して下さい！

① 蝶ナットの下付近の丸板を片手で強く押さえながら

缶内上部丸板を水平に保ちながら3つの蝶ネジを順々に緩めて下さい。

※ どの蝶ナットからでも結構です

※ 蝶ナットを管底に落とさないように！(ご注意！)



② ①の要領で 順に3個とも緩めて外し取って下さい。

③ 丸板を抜き取ります。



4. スプリング式キャップを全て取外します。

5. フィルターを全て抜き取ります。



・取り外しはこれで終わりです。(次項のフィルター取付け順をお読み下さい。)

・底に部品を落とした時は、全部のV字棒を抜いてから拾い出して下さい。

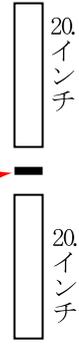
V字棒は脱着可能となっています。



※ 取り外した丸板、スプリング式キャップが汚れている場合は洗浄して下さい。

6. フィルターを挿入する。(写真右のフィルターハウジングは20" 7本タイプです。)

注意: 40インチ缶 (20インチ+20インチのフィルターを14本使用する場合は、  
図のようにフィルターとフィルターの間、パッキンが入っています。



※カーボンフィルターの場合はフィルターにパッキンが付いているので  
フィルターの間にはパッキンが入っていません。

7. スプリング式 押え具を (スプリングを上側にして) 全部装着する。(ゴムパッキンは不要)

注意: この時 フィルターの中心とスプリング押さえ具の中心をきちり合わせないと  
ズレの隙間より水が抜ける恐れがあります。



8. 丸板を乗せます。

(3本の ネジシャフト と7個の スプリング押さえ具 を押さえ板穴に  
指で案内して下さい。)



9. 蝶ナットを少しずつ順に締めていきます。

- 1) 押さえ板をなるべく水平に保ちながら順々に!
- 2) 1ヶ所ばかりを締めずに、3か所を平均的に締めて下さい。
- 3) 押さえ板を乗せた状態元位置より10~15ミリ程度沈み込めばOKです。



軽く押さえ板が乗った状態  
から10~15ミリ程度沈める。



- 10. 太い O-リング をよく掃除してからはめて下さい。
- 11. キャップを被せてから、クランプバンドを手で締めて下さい。
- 10. キャップ を被せてから、クランプバンド を手で締めて下さい。

締まりにくい場合は、クランプバンドの回りをバンドを  
傷付けない様、ゴムハンマー等でバンド回りを軽く叩け  
ば締め易いです。  
※エア抜きの先端に、逆止弁がある場合は  
元のように付けて下さい。



- 12. 缶底の水抜きバルブの閉を確認して下さい。